



Let's do it now!

2022に向けて誇りを持って All is well.

2020-2021年度
西日本区理事 古田 裕和

■非常に嬉しい話が九州部から飛び込んできました。

収束に向かって進んでいくかと思われた新型コロナウイルス感染が7月に入り、感染者の数が再び増大してきていますが皆さまの周りではいかがですか。

京都では7月に行われる祇園祭も中止になりました。風物詩がなくなるというのはやはり寂しいものですね。

さてこのような状況の中でワイズメンズクラブの活動はどのようなになっているのでしょうか。6月くらいから例会場でコロナ感染対策を取り入れながら例会を行っているという話は少しずつ聞くようになってきましたが実際にはあまりわからない状況でした。しかし各クラブのプリテンを読むと例会場での例会をできるだけ多く行います、WEBも含めてできるだけ例会は行いますなど、ほとんどのクラブがこんな時だからこそメンバーと顔を合わせるという意味で、形式はいろいろですが例会開催に前向きなのをプリテンから感じ取り各クラブの前向きな動きにとてもうれしく思っています。WEBも含めると顔を合わせる機会は通常の時より増えているような気がします。顔を合わせる機会が増えればクラブの結束力がより大きくなると思います。この機会に強い結束力を培っていただき、より素晴らしい活動ができるようにしていきましょう。

また非常にうれしい話が九州部から飛び込んできました。熊本クラブが新型コロナウイルスの影響で収入が減った生活困窮者世帯の子どもたちを支援する目的で熊本YMCAに寄付を送られたこと。また熊本ジェーンズクラブが同じく新型コロナウイルス感染の影響を受けたYMCAの留学生に対して支援を行ったという報告です。そしてこの2つの事業がどちらも新聞に記事として写真付きで取り上げられということです。今期、広報に力を入れてくださいと方針に掲げていますが7月から素晴らしい報告を聞くことができました。

また7月は西中国部評議会、瀬戸山陰部評議会、九州部協議会とEMCシンポジウム、また西日本区役員会とすべてWEBでの参加ですが各会合で参加されているメンバーの力強い話しを効くことができ素晴らしいスタートが切れたと思います。



愛を身に着けなさい。愛は、すべてを完成させるきずなです。

コロサイの信徒への手紙 3章 14節

西日本区チャプレン 立野康博(熊本ジェーンズ)

聖書の小窓「新しい生活様式は愛で」

「新しい生活様式」が求められています。生活様式だけでなく、言葉かけも新しい様式が必要かもしれません。

新しい生活様式の中で、自分の言葉も一度点検しなくてはなりません。

子どもたちへの言葉かけを、「うるさい！」というところを「声を(これくらい)にしてくれる？」と実例をあげる。

「何度言ったらわかるの！」と怒るところを「どうしたら良いと思う」と具体案を引き出す。確かに言葉を変えることで優しくなれます。言葉、行動を新しくしていかなければと思えます

エマーソンという人の言葉につぎのようなものがあります。

悪意は命を閉じ込めるが、愛は開放する。

悪意は命から力を奪うが、愛は力づける。

悪意は命の味をまずくするが、愛は愛しくする。

悪意は命を病ませるが、愛は癒す。

悪意は命の目を見えなくするが、愛は油を注ぐ。

愛というキーワードで新しく考えてみる。愛によってすべてを見ていくことができればコロナの時代でもできる事はたくさんありますね。

■2020-2021年度国際協会役員就任式

国際議員・アジア太平洋地域

次期会長 大野 勉 (神戸ポートクラブ)

2020-2021 年度国際協会役員就任式：7月4日(土)

新しく国際会長、次期国際会長、次期国際会計、国際議員が選ばれ、WEB を通して就任式が行われました。本来は、8月に予定されていたデンマーク・オーデンセの国際大会で行われるものでした。国際議員は15名。8つの地域から選出された1人の地域会長、6人は地域の人数に応じて、そして1人は青年議員となっています。アジア太平洋地域からは、2名の議員を輩出し、1年ごとに地域会長を務めます。国際会長は、賛否同数で決定投票を行う場合以外は票決権はありません。

4月以降、ZOOMでの会議に慣れつつありましたが、この日は緊張の2時間でした。室内はエアコンを効かし、ネクタイにジャケット姿(もちろん長ズボン)で式に臨みました。蠟燭を部屋で灯すなんて何年ぶり?!。声を出す場面がなかったのが残念(笑)。「顔写真はいつのもの? 若すぎる!」という声が聞こえてきました。2年間、西日本区のために努力します。



■第1回役員会議事録／概要版

2020年7月18日(土) 午後4時00分～

開催場所：WEB会議(ZOOM)

出席者：36名(兼任除く)

・議決権者の確認 常任役員 5名 部長 9名 事業主任 5名 以上 19名
過半数は 10票

【第1号議案】

議案名 第1回、第2回準備役員会議事録承認の件
議案内容 2020-2021年度 第1回および第2回 準備役員会議事録承認の件
提案理由 西日本区第1回準備役員会(2020年4月4日)、西日本区第2回準備役員会(2020年6月12日)における議事録を今期(2020-2021年度)の正式なものとするため、議事録の承認をお願いいたします。

<審議の結果> 全員賛成により承認

*大野財政監事:先ほどP35第1号議案の議案内容に記載された日程に変更があるとのことでしたが、議事録はこのままということではよろしかったでしょうか。

→古田理事:次期会長・主査研修会について、先ほど鶴丹谷LD委員長より報告があった通り会場の都合で2021年3月6日・7日に変更ということですので変更を前提に承認をお願いします。

【第2号議案】 取り下げ

議案名 ワイズリーダーシップ開発委員会委員会委員1名を追加する件
議案内容 丹吾 礼ワイズ(大阪土佐堀クラブ)のワイズリーダーシップ開発委員会の委員として承認を求めます。
提案理由 丹吾 礼ワイズがワイズリーダーシップ開発委員会の委員として参加することについては2020年6月の大阪土佐堀クラブ役員会において承認されており、新委員参加によりワイズリーダーシップ開発委員会をより充実した委員会にしていくため。

*大槻広報・情報委員長:ワイズリーダーシップ開発委員会規則第4条において、「理事によって任命された委員長および、委員長が推薦し理事が任命した数名の委員で構成される。」という規則がありますので、本件は議案ではないと理解しますがいかがでしょうか。

→古田理事:本件は取り下げさせて頂き、報告事項とさせて頂きます。

【第3号議案】

議案名 24期第2回役員会開催の件

議案内容

- 1、開催日を10月31日(土)ホテルクライトン新大阪での1日開催とする。
- 2、WEB参加を併用する。

提案理由

24期第2回役員会に対して、一人でも多くのメンバーが一堂に会し役員会の議論を行いたい。しかし新型コロナ感染の影響を少しでも軽減するため1日での開催を求めます。また同じく新型コロナ感染の影響で会場まで来ることが困難なメンバーに対する措置としてWEBを併用して役員会に出席していただく事に対する承認も求めます。新型コロナ感染について、先の予想が全くつかない状況の中で24期第2回役員会をより充実したものとするため1日開催、WEB併用案を考えました。

<審議の結果> 全員賛成により承認

- * 大野財政監事: WEB併用というのは具体的にはどのような形なのでしょうか。現地に行く人と行かない人と分けられるのかと思いますが、それはどのようにして分けられるのでしょうか。
- 古田理事: 新型コロナの感染状況により、個人の判断で会場に行きたい、行きたくないという判断が当然に分かれてくると思われます。よって会場での出席かWEBにて参加かは個人で判断して頂くということになります。

メネット事業主任報告	メネット事業主任 吉本典子
<p>メネット国内プロジェクトとメネット献金については下記の通りです</p> <p>【報告内容】 国内プロジェクトは「各クラブで地域YMCA支援」です。 メネット国内プロジェクトの区への献金は自由献金とします。 国際プロジェクトも自由献金とします。 今年度は、RSD支援金をお願いします。</p> <p>【報告理由】 新型コロナ禍のもと、活動を続ける地域YMCAをクラブとして、メネットとして支援して頂きます。その支援についてのご報告をいただき、国内プロジェクトとしてまとめます。 このような活動と致しましたので、国内プロジェクトへのメネット献金については自由献金とし、区へ送金いただいた献金については、「YMCAキャンプ100年記念事業」と「ポジティブネットの活動を行うYMCA」への支援を事業委員会で検討したいと思います。 今後のメネット事業を考え、部メネットアワーや西日本区大会への参加が重要と思いますので、RSD(メネット事業主任)支援金も自由献金で結構ですのでお願いします。</p>	

●質問意見等 なし

【閉会】19:11

■各部第1回評議会が開催されました。

●中部

日時：5月23日(土)14:00～
開催場所：WEB会議 (Zoom)

●びわこ部

日時：7月11日(土)14:00～16:00
開催場所：彦根勤労福祉会館

●京都部

日時：6月21日(日)13:00～
開催場所：WEB会議 (Zoom)

●阪和部

日時：6月27日(土)15:30～17:00
開催場所：江戸堀連合会館 (大阪市西区)

●中西部

日時：8月1日(土)14:00～16:00
開催場所：大阪 YMCA 土佐堀会館

●六甲部

日時：7月5日(日)
開催場所：書面会議

●瀬戸山陰部

日時：7月18日(土)10:00～11:30
開催場所：WEB会議 (Zoom)

●西中国部

日時：7月4日(土)13:30～
開催場所：広島 YMCA & WEB 会議

●九州部

日時：7月25日(土)13:00～14:30
EMC シンポジウム 14:50～15:30
開催場所：WEB会議 (Zoom)



■YMCA報告

今こそ、ポジティブネットのある豊かな社会づくりを、皆さんとともに考え、募金活動だけでなく、社会の中で実践すべき時かもしれません。

7月に入り、東京での新型コロナウイルス感染拡大により、感染の第2波の到来や、全国への拡大が懸念されています。この原稿が出される頃には、収束していることを願うばかりですが、毎日を不安の中で過ごしている方も多くいらっしゃると思います。すべての皆さんが、健康に留意されて、くれぐれもご自愛くださいますようお願いしています。

YMCAでは、6月の再開を目標として、ずっと継続していたチャイルドケアや高齢者プログラムに続き、ウエルネス関連、語学、学校事業などを再開してまいりました。自粛期間中も、医療従事者の皆さんと同様に、多くのスタッフは現場を守ってまいりました。再開後は、YMCAとして社会にどのように貢献できるかを、真剣に考えてきております。

一方で、海外からの渡航制限の継続、域外移動の自粛要請などが続く中、新しい事業の進め方に苦慮していることも事実です。このことが、いつ終わるのかわからないことと、すべての人たちが被災者となっていくという初めての構造に恐ろしさを感じます。

また、本来であればダイナミックな夏を過ごしていくはずの子どもたちの生活の変化、心身への多大なる影響も懸念されています。大人に限らず、相当なストレスを抱えているはずで、このような子どもたちへのアプローチとして、子ども食堂の再開、様々な交流の機会創出へのチャレンジなどが各地のYMCAで行われています。

現在、大規模号災害が多発しておりますが、これからは継続して、「そっと寄り添う支援活動」も必要な事柄となっていきます。今こそ、ポジティブネットのある豊かな社会づくりを、皆さんとともに考え、募金活動だけでなく、社会の中で実践すべき時かもしれません。

日本 YMCA 同盟
担当主事 光永尚生 (三島)

■8月の西日本区強調活動

夏本番!! Youth Activitis の強調月間です!

若者が大きく成長する夏。
ユースの活動をバックアップして
忘れられない夏をつくろう。

YMCAサービス・ユース事業主任
益国 隆人 (広島クラブ)



■昨年度の国際表彰の発表があり西日本区では二つの賞をいただきました。

- ★各区において最も会員数が増加した京都グローバルクラブ 11名増加!!
- ★京都部 (島田博司 直前京都部部长) 18名増加!!

おめでとうございます!!

チャレンジ 22 賞アジア太平洋地域部門賞

京都部

おめでとうございます!!

国際表彰チャレンジ 22 賞受賞

京都グローバルクラブ

■新しい仲間をご紹介します

7/7 入会 小西 雄希 大阪サウスクラブ

7/8 入会 群家 学 宝塚クラブ

7/11 入会 塩谷 弘行 奈良クラブ

7/14 入会 石若 義雄 京都クラブ

7/14 入会 宮脇 雄弥 京都クラブ

7/21 入会 浦部 悦子 熊本みなみクラブ

7/30 入会 倉本 由香里 岩国みなみクラブ

7/30 入会 土井 憲之 大阪泉北クラブ

7/30 入会 中面 谷俊宏 大阪泉北クラブ



■事業報告提出のお願い 〈各部部长及び各クラブ会長へ〉

期がスタートして1ヶ月が過ぎようとしています。各部では評議会も一通り終わった頃かと思えます。

また各クラブではキックオフ例会も終わり今期の動きも少しは見えてきた頃かと思えます。

新型コロナ感染の影響でなかなか例年通りの活動は難しいかもしれませんが、今できる事業や活動を考え推進していただく。そして事業の報告を各部长・主査を通じて区の事業主任宛に是非送ってください。できれば報告は一つの事業が終わるごとに提出していただければタイムリーに共有できていくので、お忙しいと思いますがよろしくお願ひいたします。報告用紙は西日本区のホームページの資料庫の中、各種届け出用紙の中に事業ごとにありますので、それ使って報告をお願いします。多くの事業報告が送られることにより、この時期でもこういった事業ができるということを西日本区全体で共有したいと思えますので是非ご協力をお願いいたします。

■事業主任から

●YMCA サービス・ユース事業主任

益国隆人（広島クラブ）

新型コロナ感染拡大防止のために、今期の YMCA 協働の行事や活動を断念されたクラブも多いことと存じます。それでも、感染対策を十分に配慮しつつキャンプ場の開村ワークを執行した、YMCA に手作りマスクを提供した、アルバイト先の営業自粛で収入を失った専門学校生や留学生に生活困窮支援金や食糧を寄贈した、授業のオンライン化の設備資金を寄付した、など次々とお聞きし、こんなときこそと YMCA を必死に支えるワイズの強い気持ちにあらためて尊敬の念をいただきました。今期は例年どおりの Y サ・ユース事業の活動は難しいと思いますが、この逆境の中でこそ新しく生まれる YMCA サービスが（地域奉仕なども）あると思います。どうか資金申請や事業報告を通じて西日本区にお知らせください。事業通信や HP に掲載して他のクラブでも参考にさせていただけるようにいたします。

●地域奉仕・環境事業主任

藤好基子（大阪なかのしまクラブ）

新型コロナの感染者が日に日に増え、各地に豪雨の被害が出ているこの頃です。何も手につかない日々で苦しんでいる方も多いと思います。私たちに何が出来るのか、何が望まれているのかを考えてみましょう！今のところ申請はありませんが、いつでも申請に応えられるよう準備しています。事業に大小はありません。続けてこられた地域奉仕、環境事業を、今だから出来る事業を、部で、クラブでよく話し合ってみてください。出来ることから少しずつでも前を向いて活動していく姿勢を崩さずに、ワイズメンとして希望をもってお考え下さい。一人では出来ないことも、仲間と共にだったら出来ると信じています。

●EMC 事業主任

竹園憲二（京都 ZERO クラブ）

今期の kickoff を迎えるにあたって、コロナ渦、災害と大変な中スタートしました。通常例会開催できるのかと不安でした。ですが、六甲部（宝塚クラブ）さん阪和部（奈良クラブ）さんの kickoff 例会が対面にてソーシャルデスタンスを持ちながら開催されました。私は大変嬉しかったです。また、九州部で EMC フォーラムも ZOOM にて開催していただきました。フォーラム開催後に九州部松永部長さんからも電話を頂きました。また、書記の園屋さんからもメールをいただきました。返信の内容としまして下記にあります。昨日竹園様がお話された中で印象に残ったことは次の点です。

- (1) 九州の魅力を活かす
- (2) 役員のための部会ではなく、本当に部のためにある部会（会員主体の部会）にする。
- (3) 若いメンバーを育てる
- (4) 今期は特に、EMC のうちの M と C が大事である

- (5) 例会では本当は会えるとよいが、この状況下では難しい場合がある。職種によっては集まることを避けなければならない職種がある。その方のためにも、実際に会うリアルな例会でも、ZOOM を併用して自宅からでも参加できるようにする、などの工夫が必要である。
- (6) オンライン例会でも、(昨日の休憩時間のように)フリーに話をする時間が大切である。

以上のメールを頂きました。

他愛もない話から汲み取っていただき本当に感謝です。それ程 EMC は日常の中にあると思います。

今期も皆さんどうぞよろしくお願ひ致します。

■事業主任から

●国際・交流事業主任

中堀清哲（鹿児島クラブ）

コロナウィルス禍の中、ワイズメンズクラブの2020-21年度期が始まりました。異例尽くめのスタートです。キックオフ例会を開催出来たクラブやそうでないクラブもあり、様々ですね。国際・交流事業といたしましては事業遂行が実に厳しい状況です。そのような中で、インターネットを利用した会議システムが脚光を浴びております。既にクラブ例会や委員会などがZoomなどを通じて開催されたことを聞き及んでおります。区の役員会や私の所属する九州部評議会もZoomで開催されました。これは新しい形の交流が出来ることを示していると思います。遠隔地間のIBC・DBCの交流がしやすくなったり、クラブ内での会員同士の交流にも応用できます。コロナ禍の危機を逆に、新しい形の交流のやり方を摸索、研究すべきでしょう。インターネットを活用した交流の好事例をクラブから部長に報告し、主任まで上げていただきますようお願いいたしますと存じます。

●メネット事業主任

吉本典子（熊本ジェーンズクラブ）

今回の豪雨災害で被害を受けられた皆様に心からお見舞い申し上げます。7月6日、西日本区事務所で大野勉直前メネット事業主任よりメネット主任バッチを受継ぎました。メネット事業前期の活動はメネット国内プロジェクト「各クラブで地域YMCAの支援」の周知徹底です。メネットとしてメンと共にYMCA支援をお願いします。すでにいくつかのクラブで留学生にお米を配布し、クオカードを差上げています。メネットさんの手作りマスクもいいですね。今年、11月にはYMCAキャンプ100年記念シンポジウムが開催されます。この支援につきましては事業委員会で検討したいと思います。今、メネット事業の位置づけなどが問われています。メネットの共有認識ではメネットとはメンのパートナーである(性別を問わず)などいくつかの認識を共有していますが、改めてメネット事業通信でご報告いたします。8月5日メネット事業主査研修会(zoom会議)を開催いたします。大野勉直前がメネット事業アンケートを実施されその集計が出ておりますので今後、このアンケート結果を踏まえメネット事業を進めてまいります。

■部会情報

新型コロナウイルスの影響で、開催情報が遅れております。
詳細が整い次第に発信する予定です。

■周年例会情報

新型コロナウイルスの影響で、開催情報が遅れております。
詳細が整い次第に発信する予定です。

■西日本区大会情報

Let's do it now

2022に向けて誇りを持って
All is well.

2021年 6月5日(土)/6日(日)

ワイズメンズクラブ国際協会

第24回西日本区大会

大会会場/懇親会:ウエスティン都ホテル京都



■理事事務局から

各クラブ、各部などで西日本区内に広く周知したい情報等があれば、書記(安井) および理事事務局長(高倉) までお知らせください。
安井▶ 高倉▶

